

九産大のユニーク卒研

九州産業大学の学生が卒業研究で、実際の部屋のリフォームを手掛け、賃貸物件として貸し出される。また志賀島(東区)にアジアへ向けたゲートタワーを造る構想をまとめた学生も。それぞれユニークな研究として学内で注目された。

【幸島朋子】

教師志望だった工学部建築学科4年、古川信一さん(22)―東区―は、リフォーム授業に関する卒業論文執筆のため、1年生10人と大学近くにある築約30年の賃貸ビル(東区香住ヶ丘2)の1室のリフォーム実習に取り組んだ。

ビルの空き部屋8室の改装を低予算で請け負った古川さん(39)と知り合った男子学生3人が同時に提案した簡素でかつおしゃれな感じの「クールな1K」。畳からこげ茶色のフローリング、部屋の壁・天井は白く再塗装、浴室には白とグレーのタイルを市松模様張り、浴槽は撤去してシャワートイレのみにするなど。

手前の洗濯機やライトもおしゃれな「クールな1K」



建築学科 古川さん 1K「クール」に改装 賃貸に

どが採用され、塗装やタイル張りには学生が主にした。「リフォームに興味を持ったのは、困っているマイナスの状態からプラスに転じる行為だから。実習があったことで、学生のやる気も上がった。機会をくれたビルのオーナーのためにも、今月半ば予定の改装完了まで協力したい」と古川さん。

「リフォームに興味を持ったのは、困っているマイナスの状態からプラスに転じる行為だから。実習があったことで、学生のやる気も上がった。機会をくれたビルのオーナーのためにも、今月半ば予定の改装完了まで協力したい」と古川さん。

実習と、平面図のトレ



自ら現場にも立った古川さん

ース、予算内でデザインするプランニング授業などの座学も含めて「初学者を対象としたリフォームの授業計画とその評価」としてまとめた。部屋の賃貸料は月額2万6000円(共益費別)。部屋のイメージは <http://www.syouritsu-sunika.com> で確認できる。問い合わせはエスト092・724・8333。